

平成 29 年度
クリーニング師試験(筆記)問題

衛生法規に関する知識
公衆衛生に関する知識
洗濯物の処理に関する知識

9 : 00 ~ 10 : 00
(60分)

指示があるまで開いてはいけません。

(注意事項)

- 1 解答用紙の右上の記入欄に受験番号及び氏名を記入してください。
- 2 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 3 解答の誤りを訂正する場合は、消しゴムで消して訂正してください。
- 4 解答は、1つの解答欄に1つだけ記入してください。2つ以上書くとその解答は無効になります。
- 5 試験開始後30分を経過するまでは、退室できません。
- 6 退室するときは、解答用紙を裏返して机の上に置いてください。
- 7 試験終了後、解答用紙のみを回収します。問題用紙は持ち帰っても構いません。

I 衛生法規に関する知識

問1 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) クリーニング業法は、クリーニング業に対して、経済発展等の見地から必要な指導及び取締りを行い、もってその経営を営業者の利益に適合させるとともに、利用者の利益の擁護を図ることを目的とする。
- (2) コイン・オペレーション・クリーニング機を設置し、全てセルフサービスにより機械を利用者に使用させることは、クリーニング業法上の「クリーニング業」に含まれる。
- (3) おしぼりを貸与し、使用後は回収して洗たくし、さらに貸与することを繰り返して行うことは、クリーニング業法上の「クリーニング業」に含まれる。
- (4) クリーニング所の営業者は、クリーニング所の使用開始後速やかに、クリーニング所の位置等を都道府県知事に届け出なければならない。
- (5) 洗たく物の受取及び引渡のみを行うクリーニング所であっても、営業者は必ず1人以上のクリーニング師を置かなければならない。

問2 次の文中の（ ）にあてはまる最も適当な語句を下の語群から1つ選び、記号で解答欄に記入しなさい。

- ・ クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、業務に従事した後（ 1 ）以内に都道府県知事が指定した研修を受け、その研修を受けた後は（ 2 ）を超えない期間ごとに研修を受けなければならない。
- ・ 都道府県知事は、クリーニング師がクリーニング業に関し犯罪を犯して（ 3 ）以上の刑に処せられたときは、その免許を取り消すことができる。
- ・ クリーニング業法で規定するクリーニング所又は業務用の車両に立ち入り、その衛生状況を検査するために都道府県知事に任命された者を（ 4 ）という。
- ・ クリーニング業に関する標準営業約款に従って営業することを登録したクリーニング所には（ 5 ）が掲示されている。

ア. 環境衛生監視員	イ. 5年	ウ. Sマーク	エ. 生活衛生監視員
オ. 罰金	カ. 1年	キ. 禁固	ク. Hマーク
ケ. 公衆衛生監視員	コ. 3年		

問3 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) クリーニング師は、その本籍又は氏名を変更したときは、1か月以内に、免許を与えた都道府県知事に免許証の訂正を申請しなければならない。
- (2) クリーニング師は、免許を受けた都道府県以外であっても、クリーニング師としての業務を行うことができる。
- (3) クリーニング師は、クリーニング所以外であっても、営業として洗たく物の処理を行うことができる。
- (4) クリーニング所の洗場は、水はけを良くするため、床が浸透性材料で築造されていなければならない。
- (5) 洗たく物の洗たくをするクリーニング所において、営業者に引き渡される前に消毒されていないタオルを洗たくするときは、消毒又は消毒効果のある洗たくを要する。

問4 次の文中の（ ）にあてはまる最も適当な語句を下の語群から1つ選び、記号で解答欄に記入しなさい。

- ・ 洗たく物の洗たくをするクリーニング所の業者は、クリーニング所に、業務用の機械として、洗たく機及び（ 1 ）をそれぞれ少なくとも一台備えなければならない。
- ・ 業者の衛生措置として、洗たく物をその（ 2 ）に応じ区分して処理しなければならない。
- ・ クリーニング所を開設せずに車両を用いて洗たく物の受取及び引渡しを営業としている無店舗取次店においては、苦情の申出先となるクリーニング所又は無店舗取次店の名称、クリーニング所の所在地又は車両の保管場所並びに（ 3 ）を記載した書面を配布する必要がある。
- ・ 伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれのあるものとして（ 4 ）で指定する洗たく物を取り扱う場合においては、その洗たく物は他の洗たく物と区分しておき、（ 5 ）に消毒しなければならない。ただし、洗たくが消毒の効果を有する方法によってなされる場合においては、消毒しなくてもよい。

ア. 乾燥機	イ. 洗たく前	ウ. 電話番号	エ. 脱水機	オ. 材質
カ. クリーニング業法施行規則	キ. 用途	ク. 洗たく後		
ケ. クリーニング業法施行令	コ. 車両番号			

Ⅱ 公衆衛生に関する知識

問1 次の文章の（ ）にあてはまる最も適当な語句を下の語群から1つ選び、記号で解答欄に記入しなさい。

日本国憲法第25条では、「すべて国民は、健康で文化的な（ 1 ）の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び（ 2 ）の向上及び増進に努めなければならない。」と規定されている。

（ 3 ）憲章においては、「（ 4 ）とは、肉体的、精神的及び社会的に完全によい状態にあることであり、単に（ 5 ）又は虚弱でないということではない。及ぶ限り最高の健康水準を享受することは、人種、宗教、政治的信条、経済状態のいかんを問わず、すべての人間の基本的権利である。」と「（ 4 ）」を定義している。

ア. 健康	イ. 中間程度	ウ. 生活衛生	エ. 病原体	オ. 安全
カ. 最高限度	キ. 公衆衛生	ク. 疾病	ケ. 保健	コ. WTO
サ. 感染症	シ. 環境衛生	ス. 最低限度	セ. WHO	

問2 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) クリーニング所における衛生管理要領によると、ドライクリーニング処理を行うクリーニング所については、大気汚染防止法等に留意し、環境汚染防止に努め、気化した有機溶剤の排気又は回収に配慮する必要がある。
- (2) 限りある資源を有効に繰り返し使う社会（＝循環型社会）をつくろうとする「3R」活動とは、Reduce（リデュース）、Reuse（リユース）、Reverse（リバース）の3つの英語の頭文字をとったものである。
- (3) 経口感染の対策として、洗濯前の委託物に触れる場合には、マスクとエプロンの着用と、接触後の手洗いが重要である。
- (4) インフルエンザの主な感染経路の1つとして、咳やくしゃみの際に口から発生する小さな水滴（飛沫）による飛沫感染がある。
- (5) ノロウイルスによる感染性胃腸炎のまん延を防止するためには、ヒトからヒトへの直接感染の予防が重要であり、ふん便や吐物の付着した衣服からの二次感染を予防する必要はない。

問3 次の文章の（ ）にあてはまる最も適当な語句を下の語群から1つ選び、記号で解答欄に記入しなさい。

- ・ クリーニング所における衛生管理要領によると、消毒が必要な洗たく物を消毒する方法のうち塩素剤による消毒の場合は遊離塩素（ 1 ）以上の水溶液に 30℃以上で5分間以上浸漬する。
- ・ 日光消毒では、太陽光線のうちDNA損傷効果のある（ 2 ）の殺菌作用を利用している。
- ・ クリーニング業の施設の関与が疑われる感染症としては、病院リネンを介した（ 3 ）の集団感染事例がある。（ 3 ）は芽胞を形成するので、疾患等による免疫力の低下により感染症にかかりやすくなっている患者等が使用する病院リネンにおいては、特殊な処理により消毒する必要がある。
- ・ デング熱やジカ熱の原因となるウイルスは、（ 4 ）によって媒介されるので、環境衛生の保持に努めなければならない。
- ・ 厚生労働省による平成26年から平成28年の食中毒統計調査では、（ 5 ）による食中毒患者数が一番多い。

ア. 250ppm	イ. 赤外線	ウ. ダニ	エ. 腸炎ビブリオ	オ. 蚊
カ. ノロウイルス	キ. 白癬菌	ク. 25ppm	ケ. セレウス菌	コ. 紫外線

問4 次の感染症疾患に最も関連がある病原体を、重複しないように下記の語群から1つ選んで、その記号を記入しなさい。

- ・ 腸管出血性大腸菌感染症・・・（ 1 ）
- ・ オウム病・・・（ 2 ）
- ・ アニサキス症・・・（ 3 ）
- ・ インフルエンザ・・・（ 4 ）
- ・ 皮膚糸状菌症・・・（ 5 ）

ア. 寄生虫	イ. 細菌	ウ. 真菌	エ. ウイルス	オ. クラミジア
--------	-------	-------	---------	----------

III 洗濯物の処理に関する知識

問1 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を、解答欄に記入しなさい。

- (1) アニオン系洗剤とノニオン系洗剤を併用すると、イオン結合を起こして効能が相殺される。
- (2) 水溶性汚れには、汗、尿、墨汁などがある。
- (3) 再汚染とは、ドライクリーニング溶剤中の油性汚れが、クリーニング中に洗濯物に付着・吸着されることをいう。
- (4) 下ごて蒸気は品物をふくらませる効果があるので、柔らかく仕上がる。
- (5) 皮革製品は、染色堅ろう度が強く、クリーニングで脱色しにくい。

問2 次の記述について、()にあてはまる最も適当な語句を下の語群から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 毛・絹繊維の漂白剤は、過ほう酸ナトリウムや(1)が適している。
- (2) 特殊な技術を用いた業者による繊維製品の水洗い処理を、(2)という。
- (3) ランドリー用の水は、(3)が適している。
- (4) (4)は、木材パルプから作られる再生繊維で、光沢が強く強度が弱い性質を持つ。
- (5) (5)は、天然の植物繊維で、細く扁平な形状をし、自然のよじれがある。

ア. 過酸化水素	イ. レーヨン	ウ. ウェットクリーニング	
エ. アクリル	オ. 軟水	カ. 綿	キ. 麻
ク. 次亜塩素酸ナトリウム	ケ. 硬水	コ. ランドリー	

問3 次の記述について、()の中から適切な語句を選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

(1) PTT (ポリトリメチレンテレフタレート) は、PET (ポリエチレンテレフタレート) よりも融点が (ア. 高い イ. 低い) 。

(2) 日本産業機械工業会が定める、ドライクリーニングにおける洗濯機械の標準負荷量の計算式は、(ア. $Q = f \times \frac{1}{4} \times (\pi D^2 L)$ イ. $Q = f \times \frac{1}{4} \times (2\pi DL^2)$) 。

[Q : 標準負荷量(kg)、f: 負荷率(kg/m³)、D: 機械内胴の内径(m)、L: 機械内胴の内長(m)]

(3) テトラクロロエチレン (パーク) は、水に (ア. 浮く イ. 沈む) 。

(4) (ア. テトラクロロエチレン イ. 石油系溶剤) は、油脂溶解力が大きく、揮発しやすい。

(5) シミ抜きは、(ア. 油性処理→水性処理→酵素処理→酸化漂白処理→還元漂白処理 イ. 水性処理→酵素処理→酸化漂白処理→還元漂白処理→油性処理) の順に行う。

問4 次の記述が説明しているものを下記から選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

(1) ドライクリーニング溶剤に添加し、不溶性汚れの除去促進や静電気の防止・抑制などの働きをする。

(2) 汚れの酸性を中和し、洗濯液をアルカリ性に維持する働きがあるランドリー用助剤。

(3) ドライクリーニング時の石油系溶剤の温度として、望ましい温度。

(4) 平成28年12月から施行されている新JISで、洗濯処理はできないことを意味する表示記号。

(5) 平成28年12月から施行されている新JISで、テトラクロロエチレンでのドライクリーニング処理ができることを意味する表示記号。

ア. ポリ酢酸ビニル イ. ドライソープ ウ. CMC エ. メタ珪酸ナトリウム
オ. 30℃ カ. 40℃ キ. 50℃

ク.



ケ.



コ.



サ.



シ.

